

教 健 体 第 1095 号
令和 8 年(2026年) 2 月18日

各 教 育 局 長 様
各 道 立 学 校 長

学 校 教 育 局 健 康 ・ 体 育 課 長

道立学校における簡易型空調機器等の効果的な運用方法の実践事例集
について（通知）

このことについて、令和 6 年(2024年) 7 月17日付け教健体第438号通知「「学校の暑さ対策(簡易型空調機器設置等の手引)」の追補版について」及び令和 7 年(2025年) 3 月31日付け教健体第1219号通知「学校における暑さ対策に係る調査結果について」を踏まえ、各学校において簡易型空調機器の効果的な運用に向けた取組を進めていただいているところですが、このたび、効果的な運用の一層の充実を図るため、別添のとおり実践事例集を作成しましたので、お知らせします。

つきましては、各学校において、本資料を参考とするなどして、全ての教職員の理解の下、機器の効果的な運用に向けた取組を組織的に進めていただきますようお願いいたします。

記

○道立学校における簡易型空調機器等の効果的な運用方法の実践事例集の保存場所
健康・体育課ホームページ

<https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/211540.html>



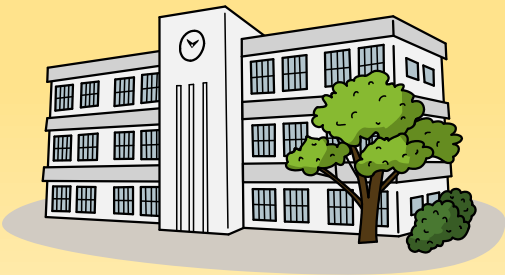
道立スクールドライブ

教育庁公開資料 > 080_健康・体育課 > 00_業務マニュアル等 > 暑さ対策

(企画・調整係)



道立学校における簡易型空調機器等 の効果的な運用方法の実践事例集



令和8年(2026年)2月

北海道教育庁学校教育局健康・体育課

道教委では、令和6年度までに道立学校に簡易型空調機器（窓枠クーラー・スポットクーラー）を整備したところですが、冷却効果が冷房設備（エアコン）と比べると限定的であり、また、近年、本道の平均気温は上昇傾向にあることなどから、各学校における窓枠クーラー等の効果を少しでも上げる工夫や取組が重要となっています。

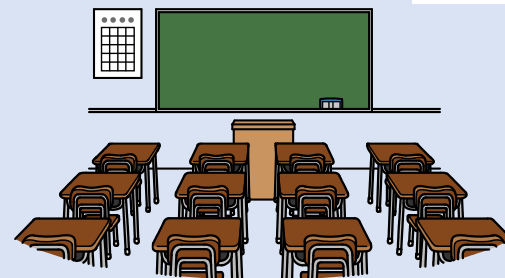
こうしたことから、このたび、これまでに道立学校で実践されている工夫例（好事例）などを取りまとめましたので、今後の取組の参考としてください。

1 これまで道教委等では、簡易型空調機器の効果的な運用方法に関して、次のとおり文書を発出しています。

(1) 道教委文書

ア 「学校の暑さ対策（簡易型空調機器設置等の手引）」の追補版について
（令和6年7月17日付け教健体第438号通知）

イ 学校における暑さ対策に係る調査結果について
（令和7年3月31日付け教健体第1219号通知）



(2) 北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所文書
学校の暑さ対策の実証（モデル事業）報告（令和7年3月）



2 簡易型空調機器の効果的な運用方法

(1) 日射遮へい

遮光カーテンや遮光ボードの設置で、教室の温度上昇を抑えることができる。

(2) 朝の窓開け換気

朝の段階で、屋外よりも教室内の温度が高い場合、窓や戸を開けて教室内にこもった熱を排出することで、室温を下げるができる。

(3) 窓枠クーラーの効果的な使い方

ア 教室内の温度が 26°C を超えるくらいを目安に簡易型空調機器を運転する。

イ 簡易型空調機器の冷気吹き出し口は、水平にする。

ウ 扇風機・サーキュレーターも、児童生徒が座った時の頭の高さで、水平に空気を攪拌(かくはん)させる。

エ 換気は必要なので、できるだけ上部の2方向の窓を開ける。

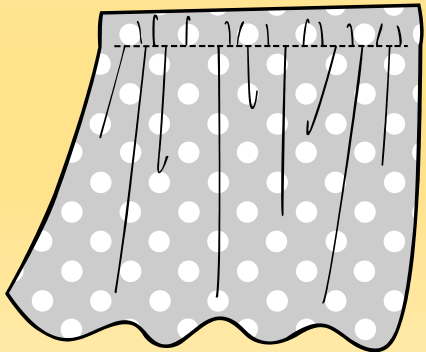
道立学校における実践事例

学校においては、主に窓からの日射熱と人体からの発熱で教室内が暑くなります。冷却能力が小さい窓枠クーラーを稼働して、教室内の温度上昇を抑えるためには、窓からの日射を遮へいしつつ、窓枠クーラーの冷気を効率的に使用することが重要です。ここでは、道立学校における効果的な取組をいくつか紹介します。

実践事例を参考に、簡易型空調機器の効果的な運用の取組を進めていただきますようお願いいたします。

① 日射遮へい

晴れた日に窓から入ってくる日射熱を遮光カーテンや遮光ボードで減らし、室内が暑くなるのを抑える。



①日射遮へい

■遮光カーテンの設置

全ての普通教室に遮光カーテンを設置。また、日差しが強い南向きや厳しい西日が差し込む西向きの特別教室等にも併せて設置。

設置後は、暑い日はしっかり遮光カーテンをすることで、教室内の室温上昇を抑えることができる。

【参考①】～遮光カーテンの仕様～

- ①遮光1級、防災、遮熱の全ての機能が備わっていること
- ②設置する部屋の窓側の面の色は、白又はシルバーそれに準ずる色であること
(教室側の面は任意)
- ③カーテンのひだがないこと又はひだが少ないこと



遮光カーテンの仕様で最も重要なことは、太陽光をいかに反射させ、日遮熱を教室内に入れないようにすること。太陽光を反射させるためには、窓側のカーテンの色は白又はシルバーが望ましい。その際、教室側のカーテンの色は特に問わない。

遮光カーテンの設置に当たっては、窓とカーテンとの隙間を最小限にすることが大切。また、カーテンが熱を吸収し、熱を放出するので、カーテンの面積を最小限にするため、カーテンのひだはないことが望ましい。

①日射遮へい

■遮光ボードの設置

全ての普通教室に生徒手作りの遮光ボードを設置。窓の外側にボードを設置することで、日差しが窓ガラスに直接当たるのを防いでくれる。

また、熱が教室内に侵入する前の段階でシャットアウトできるため、高い遮熱効果を発揮している。

【参考②】～遮光ボードの仕様～

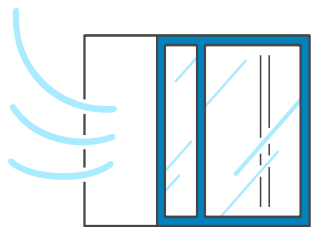
- ①縦180cm、横90cm、厚さ5mmの発砲スチロール製
- ②片面にのりを塗布、保温アルミシートを貼り付け

【効果】 設置前と比べて約3℃室温が低減



②朝の窓開け換気

朝に教室等の二方向の窓などを大きく開けて風を通し、室内にこもった熱を排出する。



定期的に換気しよう

②朝の窓開け換気

■数分でも室温は低下する

朝は換気の絶好のタイミング。教室の窓を全開換気している。

5～10分程度の換気でも室温は下がり、その後の窓枠クーラーの効きも良くなる。結果、快適になるまでの時間が短縮される。

【手順:全開換気 → 窓枠クーラー稼働】

■朝だけでなく…

定時制課程のある学校なので、朝の換気に加えて、日が沈み始める夕方（午後6時以降）にも、教室の窓を全開換気している。

日中に蓄積された熱気を一気に逃がすことが出来る。

■湿度も大切

朝に窓開け換気する際は、**教室の湿度にも注意を配っている**。湿度は、快適さを感じる大切な要素。例えば外気温は低いが、雨上がりで湿度が非常に高い場合、換気をするとジメジメした空気が入ってくるため、換気はしていない。

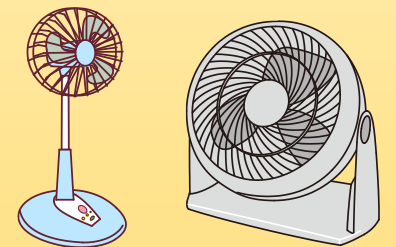
参考 ③

湿度が60%を超えると不快感が増し、汗が蒸発しにくいいため、熱中症の危険性が高まる。また、湿度が1%下がるだけで体感温度が約0.3℃下がることが気象庁のデータで示されている。

③窓枠クーラーの効果的な使い方

窓枠クーラーを次の点に留意して使う。

- ・ 窓枠クーラーの冷気の吹き出し口は水平に！
- ・ 扇風機・サーキュレーターは、空気を横方向に混ぜるように！
- ・ 窓枠クーラー運転時の窓開け換気は、できるだけ上部の二方向の窓を利用！



冷却能力が落ちてきたと感じたら、次に掲げる項目について見直ししてみましょう。
十分な冷却力を取り戻せる可能性があります。

③窓枠クーラーの効果的な使い方

■タイマーの活用

早朝に窓枠クーラーが稼働するよう前日からタイマーをセットしている。

窓枠クーラーは、教室内の温度が高くなってから運転しても、室温は下がらないので、教室内の温度が高くなる前から運転を開始することが重要。

参考④

窓枠クーラーは、タイマーを有効活用することが大切。タイマーは1時間から12時間まで1時間単位でセットが可能。

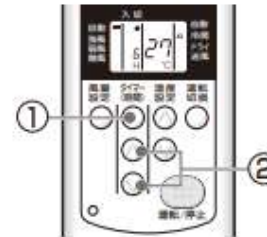
■本体吸込口・吹出口の確認

本体正面と背面の吸込口・吹出口が窓やカーテンなどで塞がれていないかを窓枠クーラー使用前に確認している。室内が冷えないと感じるときは、吸込口・吹出口が障害物で塞がれている可能性がある。

13 タイマー運転

(株)コナ「コナルームエアコン取扱説明書」11頁

タイマーを上手に使うことで、必要な時間だけ運転することができます。



切(運転→停止)・入(停止→運転)タイマーのセット

①タイマー切換ボタンを押します。

■ボタンを押すと、つぎの順番で表示が切り換わります。



※運転モードを確認してください。

※本体表示部のタイマーランプの点灯を確認してください。

【切タイマー】

例えば…2時間後に運転をやめたい場合



【入タイマー】

例えば…6時間後に運転をさせたい場合



②▲・▼ボタンでタイマー時間をセットします。

■▲・▼ボタンを押して、エアコンを停止または開始させたい時間に合わせます。(表示の時間後にエアコンの運転を停止または開始します。)

※1時間から12時間まで1時間単位でセットできます。

※セット時間は記憶されます。

【おやすみ自動運転】

切タイマー運転をすると、通常の設定温度に対し右記のように設定温度を変更します。おやすみ中は体温調節機能が低下しますので、冷えすぎないように室温コントロールします。風量「自動」の場合は微風運転になります。

切タイマー運転開始 1時間後の設定温度	切タイマー運転開始 2時間後の設定温度
約1℃高め	約2℃高め

(2時間後以降は、2時間後の設定温度と同じままとります。)

タイマーセットを取り消したいとき……

タイマー切換ボタンを押して連続運転にします。

「切」●タイマーのとき… ●とタイマー時間の表示は消えます。(2回押し)
「入」○タイマーのとき… ○とタイマー時間の表示が消え運転を開始します。

※本体の運転開始と本体表示部のタイマーランプの消灯を確認してください。

※運転を停止したい場合は、運転/停止ボタンを押してください。

ご注意

■タイマー運転中に停電があったときは、通電が再開したらタイマーを再設定してください。

■電池交換をすると切タイマーは1時間、入タイマーは6時間の設定となりますので再度設定してください。

③窓枠クーラーの効果的な使い方

定期的な清掃

窓枠クーラーを定期的に清掃している。
清掃することで冷え方が変わる。

なお、フィルタにほこりが詰まると、冷房能力の低下、電気代のムダに繋がる。

高層階への対応

特に暑くなる3・4階の教室は、扇風機やサーキュレーター等の台数を1・2階より多く設置している。

空気の流れを意識

扇風機・サーキュレーターの併用、空気の流れを意識している。水平に空気を攪拌(かくはん)させることで、室内全体に効果的に冷気が循環するよう工夫している。

16 お手入れのしかた

(株)コロナ「コロナルームエアコン取扱説明書」13頁

警告 エアコン内部の洗浄はお客様自身ではおこなわず、必ずお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談する
適切な洗浄剤の選定・使用方法で洗浄をおこなうと、樹脂部分が破損したり水もれなどの原因になります。また、洗浄剤が電気部品
やモータにかかると、故障や発煙・発火の原因になります。

注意 お手入れをするときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜く
内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になることがあります。
取りはずすときは、エアコンを傾けない
内部にたまっている水が滴下して家財などをぬらす原因になることがあります。

エアフィルタのお手入れ

■エアフィルタにはこりがつまると、冷房能力が低下します。2週間に1回はお手入れをしてください。

■エアフィルタの取り出しがた

- 右図のようにオープンパネルの下のつまみを手前に引いて、オープンパネルを上を持ち上げてははずします。
- エアフィルタの引掛けつまみ5カ所をはずし、エアフィルタをはずします。



■エアフィルタの掃除

掃除機を使用するか、軽くたたいてください。
汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗ってください。洗ったあとは、水分を十分ふきとり日陰で乾かしてから、もとどおり取り付けてください。



■オープンパネルの取り付け

オープンパネルの上部を引掛け、右図の●印4カ所を押して、確実に取り付けてください。



使い始めるとき

- アース線が断線したり、はずれていないか確認します。
- 運転中は、本体背面の窓を開めないでください。窓を開けたまま運転すると、故障や温風で窓ガラスが破損する原因になることがあります。
- 電源プラグを差し込みます。
- リモコン収納部よりリモコンを取り出し、電池を入れます。

お願い

- ゴム栓をはずしたまま運転しないでください。はずしたまま運転すると、家財などをぬらす原因になることがあります。
- エアフィルタをはずしたまま運転しないでください。ほこりなどが内部に入り、故障の原因になります。
- エアコン本体を取りはずしたときは、取付栓や窓ストッパーの扉面・突起などでけがをしないよう注意してください。
- エアコンは必ず正立で運転・保管してください。
- シーズンオフなど、エアコンを長期間使わないときは、エアコン底部にたまったドレン水を室外ドレン排水口から抜き取ってください。

点検整備のおすすめ

エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては、においが発生したり、ゴミやほこりなどによりドレン水の処理が悪くなり、水もれの原因になることがあります。エアコンを長持ちさせるために、通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。点検整備は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

オープンパネルおよび本体のお手入れ

■オープンパネルのお手入れには、スポンジや布などのやわらかいものを使用してください。
水洗いするときは、中性洗剤を溶かした40℃以下のぬるま湯か水を使用し、洗ったあとはよくすすいで、やわらかい布で水分をふき取るか、日陰で乾かしてから、もとどおり取り付けてください。

■エアコン本体やリモコンは、やわらかい布でからぶきしてください。

■汚れがひどいときは、40℃以下のぬるま湯か水を含ませた布をかたくしぼってふいてください。
絶対に水をかけないでください。

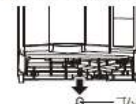
■ベンジン、シンナー、みがき粉、化学ぞうきんなどは、変形や変色の原因となりますので使用しないでください。

長期間使わないとき

■内部乾燥運転をして内部をよく乾燥させます。
(15P 内部乾燥運転 11ページ)

■内部乾燥運転終了後、電源プラグを抜きます。

- 窓枠からエアコン本体を取りはずし、エアコン底部にたまったドレン水を排水します。
 1. 水受け容器を準備します。
 2. 室外側底部にあるゴム栓をはずします。
 3. 排水が終わったら、ゴム栓を戻します。



■エアフィルタを掃除してもとどおり取り付けます。

■リモコンの電池を取り出し、リモコンは本体のリモコン収納部に保管します。(15P リモコン収納部 6ページ)

④その他

④ その他

■マニュアルの作成

窓枠クーラー稼働時の窓やドアの開閉などについてマニュアルを作成し、少しでも冷却効果が高まるよう工夫している。



例

窓エアコン利用簡易マニュアル

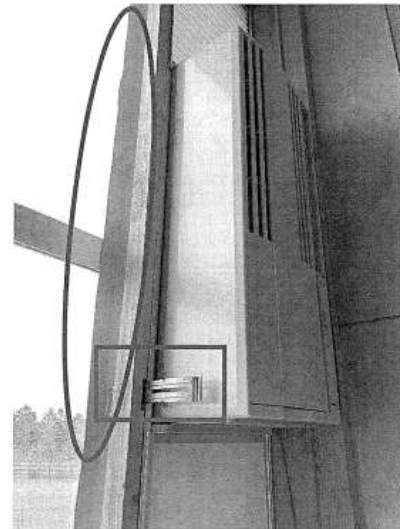
●● 高校職員室・事務室

0 はじめに

エアコンは、室内の冷却のため電力を大量に使って外部に熱を放出する器具であることから、他の機器を含めた利用電力量を確認し、省エネや電気料金に配慮するとともに、SDGs や健康の面から、生徒と教職員がともに持続可能性のある適切な利用を考えていく必要があります。また、窓エアコンは通常のエアコンと異なり、窓を開けて利用する必要があることから、利用時及び終了時には、安全面や防犯面への配慮が必要となります。本マニュアルを、窓エアコンの効率的な活用役に立てていただければ幸いです。

1 使用開始時の注意

- ・天気予報で外気温が28℃を超えると予想される日や、それよりは低い予想だが湿度が高い日を目安に利用する。
※「建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行令」と、労働安全衛生法の「事務所衛生基準規則」が定めている室温が17～28℃であることや、環境省が推進しているクールビズの適切な室温が28℃であること、及び全教室に温度計がないことを踏まえ上記のとおり設定。
- ・外窓を、本体付属のベージュ色の風吹き込み防止ゴムの部分（写真○印）まで開ける。



- ・外の風や排気熱の吹き込みが気になるときは、内窓を本体ぎりぎりまで閉める。
- ・冷却効果を上げるため、他の窓や入口ドア、廊下・教室の上部窓を閉める。

※ 本体の冷却能力が低いこと、窓開けによる「自然風+扇風機」と比較して、上記の適用の可否を各教室で教員が判断ください。

2 使用中の注意

- ・扇風機と併用し、冷気を循環して使用してください。

※ エアコンと扇風機、黒板消しクリーナー等を同じ壁面のコンセントから同時併用すると、使用電力量が過大となり、ブレーカーが落ちる等の事象が発生します。一部機器の電源を一時的に切るなど使用電力量を調整しながら利用願います。

- ・機器の能力が十分ではないことを踏まえた活用方法を検討ください。

※ 高温が予想される日は移動教室の間でもドアを閉めエアコンを稼働させておくなど、1日の生徒の動きを見据えた利用の工夫をお願いします。

- ・リモコンは機器の周り（黒板横の棚等）に置き、原則教員が操作してください。

※ リモコンがないとほとんどの操作ができません。

※ リモコンは本体のフィルターカバー内部に収納可能ですが、カバーの頻繁な脱着は破損にもつながるため、シーズンオフ等長期で利用がなくなる時のみ収納することとします。

3 使用後の注意

- ・電源をオフにする。

- ・外窓を閉める。

※ 本体左横の金属棒（写真□印）が外窓側に飛び出しているときは手前に引いてから閉める。

※ 内窓を左右にずらして横から手を差し入れ、クレセント錠を回す。

※ 内窓も、閉まるまで開けておく（保温のため）。

4 その他

- ・不具合がでたら、職員室の副校長 or 教頭か事務室にお知らせください。
（ゴム等が引っかかり窓が閉まらない、水があふれ窓枠がぬれている等）

④その他

■カーテンを閉めて下校

生徒下校時、西日による教室内の温度上昇を防ぐため、教室のカーテンを閉めてから下校することを徹底している。

■日陰となる教室の使用

暑い日は普通教室を使用せず、北側の特別教室を活用し、授業を実施している。

■冷却された空気は外部に逃がさない！

教室の窓やドアを開けっぱなしにせず、迅速に開閉を心がけるよう、日頃から生徒に徹底し、冷房効率の低下を防いでいる。

また、窓やドアの開閉ルールに関する掲示物を教室内に貼り、生徒・教職員全員で効果的な運用への意識を高めている。

■LED照明の導入で…

普通教室におけるLED照明の導入で余分な熱発生が低減。LED照明は白熱灯や蛍光灯に比べ、発熱が少ない。白熱灯は消費した電力の約90%を熱に変えるが、LED電球は約30%程度に抑制可能。

また、蛍光灯は点灯時に水銀蒸気を発生させるので温度が上昇するが、LED電球は半導体素子で光を発するため、水銀蒸気は発生せず、室温上昇を抑えることができる。

